

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 12 日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒143-0003

住 所 東京都大田区京浜島三丁目5番6号

氏 名 小松川化学株式会社  
代表取締役 番條貢太

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

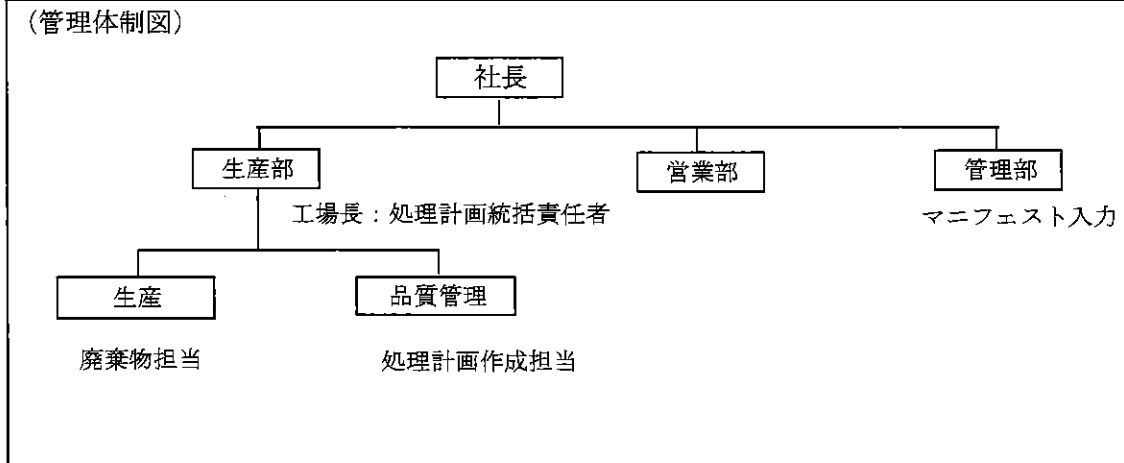
電話番号 0475-58-5174

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小松川化学株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県東金市薄島下申新田1072-3他
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 8億7百万円
③ 従業員数	21名(正社員21名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	-	-	-
	排出量	- t	-	t
	(これまでに実施した取組) ・プラント洗浄に使用する一回の水の量を減らすことを実施中。 ・一生産ロットを大きくし、また、同一製品の生産を連続的に行い、洗浄回数を減らすようにする。			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	-	-	-
	排出量	- t	-	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き洗浄に使用する水の量及び洗浄の回数を減らす対策を実施する。 ・排出量の多い中和塩水等(廃アルカリ、廃油、汚泥)の排出量の目標は、前年度と同じ、1,500tとした。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物毎に専用の置き場を作り、解体、分別して保管するようになっている。可能な限り、有価物になるようになっている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新たな廃棄物が発生する場合は、その分別方法について検討する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ドラムの中の洗浄を行い再利用している。また、金属くずを鉄くずとして、有効利用を増やしている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、ドラムや金属くずの有効利用を実施する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自社で埋立処分又は海洋投棄処分を行ったことは無い。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は海洋投棄処分する予定は無い。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用、熱回収を行っている業者に委託する。			

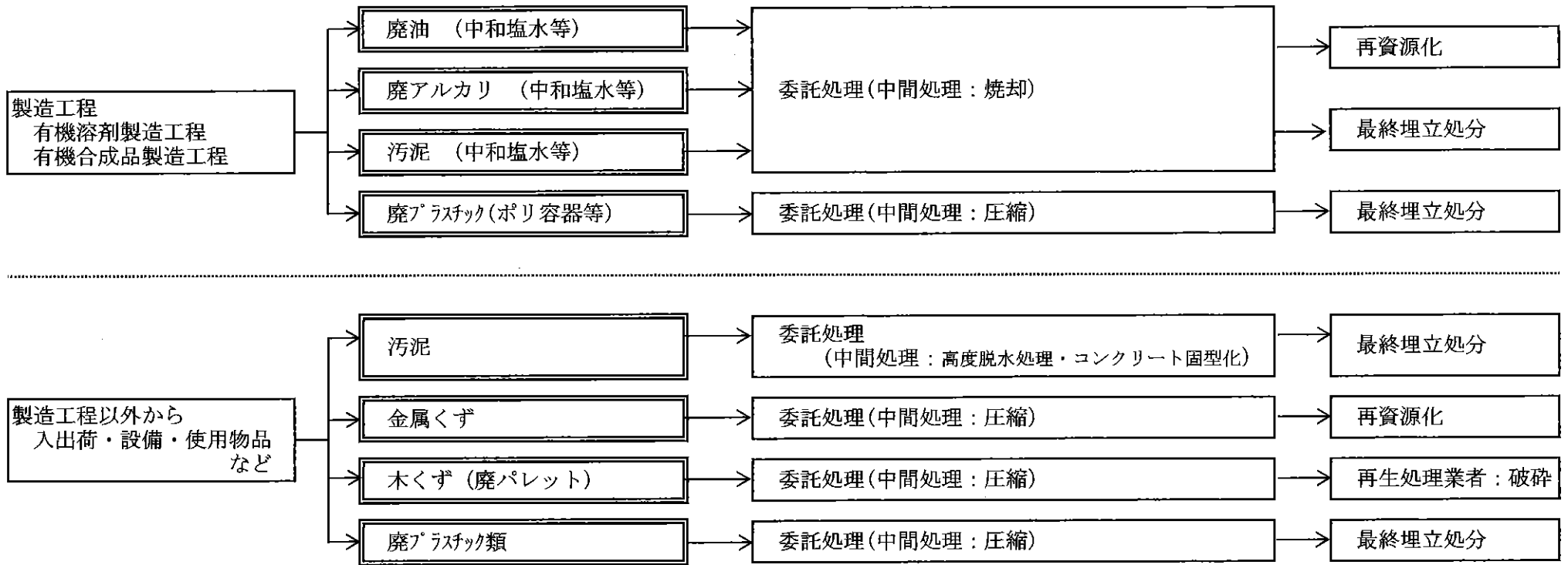
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	-	-	-
	全処理委託量	-	t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	t	- t
	再生利用業者への処理委託量	-	t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き、可能な限り再生利用、熱回収を行っている業者に委託する。			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④別紙 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	排出量	104.29 t	969.35 t	812.43 t	12.9 t	25.08 t	70.06 t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	排出量	100 t	600 t	800 t	10 t	20 t	50 t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	全処理委託量	104.29 t	969.35 t	812.43 t	12.9 t	25.08 t	70.06 t	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	10.69 t	146.47 t	16.27 t	12.9 t	25.08 t	70.06 t	- t	- t
	再生利用者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	93.6 t	822.88 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.69 t	146.47 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	-	-
	全処理委託量	100 t	600 t	800 t	10 t	20 t	50 t	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	100 t	0 t	10 t	20 t	50 t	- t	- t
	再生利用者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	100 t	500 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	100 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t	- t